

歌とダンスを楽しむ参加者



響くサウンドと華麗なダンス

◎音楽を楽しむ集い

「音楽を楽しむ集い」は2月16日、日吉住民センターで開催されました。

この日は、2バンドによるジャズやフォークなどの曲の生演奏とともに、鬼北スポーツダンスサークルの会員らが社交ダンスを披露。その華麗なダンスで参加者を魅了しました。

町内外から約70人が参加したこの集い。参加者たちは迫力ある演奏が会場全体に響き渡る中、用意されていたおいしい料理やワインに舌鼓を打ち、集まった仲間とのおしゃべりを楽しんでいました。

指導を受けながら巻きずしに挑戦



料理の楽しさと大変さを体感

◎メンズエプロン教室

2月14日、中央公民館・調理室において、「第8回メンズエプロン教室」が開催されました。

町内に住む食の自立を目指す男性を対象に、食生活の改善や地域の食材を使った料理を伝えていくことを目的に行われたこの料理教室。この日は町内の男性約25人が参加し、鬼北町生活研究協議会（高田ミサ子会長）の会員らの指導を受けながら、慣れない手つきで懸命に料理に挑戦していました。

悪戦苦闘しながらも完成した料理の数々。それらを前に、参加者らは満足そうな笑顔を浮かべていました。

江崎名誉教授による講演の一場面



素晴らしい史跡を継承していくために

◎平成24年度鬼北町文化財シンポジウム

平成24年度鬼北町文化財シンポジウムは2月23日、「史跡の災害と保存整備」「水」と「植生」への対処と克服」と題して、近永公民館講堂で行われました。

県内4市町による事例発表の他、愛媛大学名誉教授・江崎次夫氏による講演を開催。「植生による史跡へのマイナスイメージは大きい」と話し、しっかりと知識を持つことの必要性を訴えました。

また、愛媛大学名誉教授・下條信行氏の進行によるシンポジウムでは、「今、何をしなければならぬか」を中心に、史跡を次代につなぐことの重要性を再認識していました。

都築選手による直接指導



スポーツの楽しさと技術を学ぶ

◎ジュニアスポーツスクール

2月23日、鬼北総合公園体育館で、「ジュニアスポーツスクール（バレーボールの部）」が開催されました。

ジュニアスポーツ人口の拡大を目的に、愛媛県体育協会の都築由美子選手を迎えて行われたこの教室。町内外から99名の参加があり、親子での参加も見られました。

都築選手は終始笑顔で子どもたちに接し、一人ひとりの選手に対して、分かりやすく丁寧な指導を実施。参加した子どもたちは都築選手に対して憧れの眼差しを向けるとともに、自身の成長へとつながるよう意欲を新たにしているようでした。